第二試合、弁天堂大学 vs 京都法科大学の試合がはじまった。
昨年は規約違反で無念の涙をのんだ弁天堂。今年は堂々の準決勝戦だ。弁慶のパワー、ランポーの密集内でのしぶといプレー、そして意識が本来に戻っている早池峰の強引なハンドオフなど、弁天堂は果敢なプレーをみせる。
あかねがボールをもった。京法大のバックス陣は、「あかねシフト」とも呼べる、左右方向に交互に並ぶ配置で、あかねのウィングステップを封じようとした。
あかね「俺は何としてでも、この試合に勝って決勝に行かなきゃならねえんだ！！」

気合の入ったあかねのウィングステップは、「あかねシフト」さえも破って、6 人全員をかわした。そのままトライ。**やっぱりチート技だった**。
弁天堂大 25-13 京法大で、ノーサイド。弁天堂は、昨年の雪辱をはらして決勝進出を決めた。
客席では試衛館の外人選手 3 人が見ていた。
ガラシア「やはり決勝の相手は弁大か･･･だが、その前に我々の顔を見た唯一の目撃者、栗果とかいう娘と･･･」
ニイミック「あの姫神あかねには消えてもらわんとな」
そう、1 月 15 日の決勝戦にあかねの姿はない･･･傭兵達の企み通りになってしまうのか！？

大都スポーツ新聞社へ、柴田は命からがら逃げ戻ってきた。すぐに仕事にとりかかる。同僚が、社会部からの FAX を渡してくれた。それは日本に入国してきた 3 人の傭兵のリストだった。
ガラシア・リトバルスキー、ニイミック・ミラー、セリーガル・ブラウン･･･これで、試衛館大学の外国人選手の素姓を明かすことができる。だが、驚くべきことに、そのレポートには、ガラシアが女性だと書かれていた。試衛館大学の選手リストには、ガラシアは男性として登録されているので、食い違っている。
柴田がレポートをよく読むと、ガラシアの経歴には、旧ユーゴスラビアのラグビー代表選手とあった。ということは、ガラシアは、あかね以前に成果初の女性ラガーとして誕生していたことになる。
柴田は準決勝で試衛館大学と弁天堂大学が勝利をおさめたことを聞くと、
柴田「あかねが危ねえっ！次に狙われるのはあかねだ！！そして栗果もだ。あいつは奴らの顔を見た唯一の人間だからな！！」
と、席を立った

試衛館大学のラグビー部では、監督が 3 人の傭兵選手達を労っていた。あとひとつで優勝というところまできたのだ。優勝すれば、全国から有望な高校生ラガーが集まってくる。試衛館大はますます強くなるという算段だ。**サイテー**。
監督「そのためにも頼むぞ！何が何でも弁大を倒して優勝してくれよ！！」
封筒に入れた札束をおいて、監督は軽やかな足取りで去っていった。
ガラシアは、過去を回想していた。
1992 年 4 月 5 日、ボスニア首都サラエボ･･･ガラシアはラグビーの試合に出ていた。女性ラガーとして、目覚しい活躍をしている。だが、ガラシアがトライを決めた直後、観客席に爆弾が落とされた。空爆だ。試合は解散になり、皆散り散りに逃げた。
ガラシアは家にすぐ向かったが、両親はすでに射殺された後だった。しかも、泣き叫ぶガラシアは敵兵にみつかってしまった。男達は、数人がかりで強姦しようと襲い掛かってきた。一巻の終わりと思われたが、銃弾が敵兵の一人の頭を貫いた。続けて、残りの兵士達も頭を次々と打たれていく。救ってくれたのは、クロアチア陸軍のストラナッツ（外人兵士）であり、日本人の細川忠興（ただおき）だった。細川は今の状況を説明してくれた。セルビアが攻めてきたこと、そしてサラエボの街は大部隊に展開され、封鎖されているという。旧ユーゴ連邦は、ソ連崩壊と同時に、それぞれの国と民族が独立を唱えて紛争状態となったのだ。
半年後、ガラシアは自らも兵士となっていた。細川と阿吽の呼吸で敵の攻撃に成功する。
細川「ガラシア、お前もやっと兵士らしくなったな」
だが、細川はこの紛争が一段落したら日本に帰ると言った。
細川「日本で俺のように戦いが好きな連中を探して、また戻って来る･･･最強のストラナッツを作って、セルビアを蹴散らすのさ！」

ガラシア「じ、じゃあ、またここに戻ってくるのね！？」
細川「当たり前だ。平和ボケした日本は、俺には退屈すぎる！」
ガラシアは、細川の胸に飛び込んで喜んだ。
ニイミック「･･･ラシア。ガラシア！」
ガラシアは、ニイミックの声で現実に引き戻された。
ニイミック「お前、まだ忠興のことを･･･」
なんで、お前はガラシアの脳内を見抜けたんだよ。
ガラシア「ニイミック。私はとっくに女を捨てたんだ。くだらないことを言うんじゃないよ！」
ガラシアは、チームで手分けして、明智栗果と姫神あかねを始末することを高らかに宣言した。
ガラシア「忠興、見ててよ。あんたの生まれたこの日本で、必ず優秀な傭兵となる人材をつかまえてボスニアに戻るからね。そして･･･パパとママを殺したセルビアを全滅させてやる！！」
普通に考えて日本にはいないだろ･･･細川は例外的存在だろうし、細川自身が「平和ボケした日本」といっているのだから、探しに来る国が間違ってますよ。

街中を、あかねと明が歩いていた。決勝進出を決めたというのに、あかねは浮かない顔をしている。
あかね「･･･ラガーマンってさぁ、敵味方に関係なく仲間意識が強いんだよ･･･だから、試合中どんなにラフプレーがあっても、ノーサイドの笛が鳴れば握手ができるんだけど･･･」
明「試衛館は仲間として見られないのね･･･」
あかね「俺、怖いんだよ。試合が始まってラフプレーが出たら、本気で奴らを憎んじまいそうで･･･」
そこへ、柴田が乗った車が横付けしてきた。
柴田「あかねー！大事な話がある！急いで車に乗ってくれ！！」

病院の 612 号室。栗果の病室だ。
花束をもった外人女性がベッドを見下ろしている。以前、あかねと一緒に赤ん坊を救った、あの外人女性だ。栗果の顔は布団に隠れている。彼女は花を瓶にさし、病室を出て行った。
花には時限爆弾がセットされていた。

もう、テロじゃん。ラグビー勝つためとかのレベルじゃねえぞ。

栗果は、柴田の車の中にいた。間一髪、柴田がつれ出したのだ。爆発をみて、

柴田「栗果のいた病室だ･･･奴らそこまでやるかよ･･･急いで栗果を脱出させておいた良かったぜ～」

あかね「ゆ･･･許せねえ･･･関係のねえ人達まで巻き添えにしやがって･･･」

あかねは歯を食いしばった。いや、ラグビーでとっちめるとかじゃなくて、これは国家規模で問題に対応したほうがいいと思いますが。

1 月 15 日･･･ついに、大学選手権決勝戦　弁天堂大学 vs 試衛館大学の日がやってきた。
客席には、朝倉・ナポレオン滝・阿門や目蓮達もきている。弁天堂 OB の近藤や、あかねにウィングステップを伝授したみずほも観戦に来ている。
試合前の控え室。弁天堂メンバー達もさすがに緊張気味だ。あかねは、一人沈んだ顔をしていたところ、面会したい人が来たという。
あかねが表へ出てみると、いつぞや一緒に赤ん坊を助けたスタイルのよい外人女性だった。新聞であかねのことを目にして応援しにきたと言い、手に花束を持っている。だが、この女性こそガラシアである。花束の下では、拳銃があかねの方を向いていた･･･。ガラシアは引き金に力を込めようとした。
あかね「せっかく応援に来てくれたのに、今日の試合はどうも気が進まねえんだ･･･」
ガラシアは引き金を引くことをためらった。
あかね「詳しくは言えねえんだけど、相手チームの外人選手がひどい手を使って、この大会の優勝を狙っているんだ。俺の仲間も犠牲になってる･･･」
ガラシア「･･･」
あかね「でも、ラグビーやってる奴ってさ、ガラは悪いけど気持ちのいい連中ばっかしなんだよ。それって万国共通だと思うんだ。試衛館大の外人選手もきっとそうだと思う。奴らには奴らなりの理由があって悪事を働いているんだと思う。俺なんかにはわからない理由が･･･ね」
ケガを負わせるくらいならギリギリこの論理も成り立つとは思うが、**爆破テロまでいったら、気持ちのいい連中のわけないだろ。**
あかね「なあ～んちゃって！！そう言いながらも、実は俺、心の底ではワクワクしてんだぜ。強い相手と戦ってみたいというのはラガーマンの本能だからな！」
ガラシアはフッと笑って、拳銃をおろした。あかねの華麗なプレーを楽しみにしていると言い残し、「シーユーアゲイン」と言って立ち去った。
ガラシアさん率いる傭兵チーム、南郷・柴田・栗果・あかねと連続でしとめ損ねてますけど･･･相当ツメ甘いですよ。ずばり傭兵に向いていないのではないか。

ガラシアは試衛館大の控え室に戻った。ラガージャージに着替え、バンダナを巻く。あかねを一女性として訪問したときと、明らかに目つきがかわる。
ガラシア「さあ、行こうか！」
試衛館大チームは円陣を組み、「born to kill fuck them all！（俺達はクソ野郎共を皆殺しにするために生まれたんだ)」と気合を入れる。
一方の弁天堂も「試衛館粉砕！」と気勢をあげていた。
両チームがグラウンドに飛び出してきた。試衛館の外人選手達を見て、スタンドの栗果は気がついた。
栗果「あ、あの人達よ。私に南郷さんを襲わせたのは！！」

栗果は、現場で「これからここに現れる男が、連続ラガーマン傷害事件の犯人だ。奴は次に弁大の選手を狙うつもりでいる。キミがブロックを落として奴がダメージを追った所を、我々が取り押さえる」とそそのかされて、南郷襲撃の実行犯となってしまったのだ。
そうはいっても、浅はかすぎるとは思うが。**ところで、南郷を襲撃時点でもコートの中身は「謹賀新年」だったのだろうか**。明の家を出たらすぐ拉致されたのだから、普通に考えるとそうだと思うのだが。
試衛館大の傭兵外人選手達は、栗果やあかねをみて、改めてしとめ損なったことを認識したが、
ガラシア「銃で仕止めるより、もっとおもしろい殺し方を思いついたのさ」
と**自分のツメの甘さを正当化**した。

ガラシアさん、**バンダナ巻くと人格変わります**。地獄から復帰まもない**早池峰が乗り移ってません？**

試衛館大からのキックオフで試合開始。
まずあかねがボールをキャッチした。いきなりモールになる。あかねは明にパスするが、もはやボールを離したにも関わらず、2 人の試衛館選手から肘打ちを顔面に受けた。うずくまるあかね。
風馬「てめえら、わざとやりやがったなー！」
偶然だとシラを切る試衛館。
あかね「そ･･･そうかよ･･･これがてめえらのやり方かよ」
両目のまわりにアザをつくったあかねは顔をあげた。
ガラシア「ククク･･･フッフッフッ･･･甘い甘い甘ァ～い！まだまだそんなもんじゃないよ、姫神あかね！一時間後には、この競技場の観客達に血ヘドを吐いてのたうちまわる醜い骸(むくろ)と化した姿をさらすのだから！！」
狂気に満ちたガラシアは、こうしてあかねを見下ろすのだった。

試衛館大のラフプレーは続く。スクラムが潰れるドサクサにまぎれて、弁慶やランポーがスパイクで顔を踏まれる。
あかねがボールを持つと、「もいっぺんつぶしたれっ！」と試衛館の選手が襲ってきたが、冷静なあかねは目前で風馬にスイッチパスをした。
実況「おっと、義経（よしつね）選手にスイッチパス！」
と実況が言っているのだが、**風馬の本名が義経であるという事実は、ここで初めて知った人が多いのではないだろうか。**
さすが風馬は速い。だが、試衛館の 11 番セリーガルもかなりのスピードで追いついてくる。
それでも風馬は逃げ切りかけたが･･･

ゴール目前で、**ニイミックにパチンコを当てられ**、ひるんだところをセリーガルに止められてしまった。しかも、セリーガルは倒れた風馬に、流れで関節技を決める。
ガラシアがボールを奪った。鏡が前に立ちはだかるが、ガラシアは驚異の跳躍力で、鏡のはるか頭上を飛び越えて抜いた。
ガラ空きのスペースにいるニイミックにパス。今度はニイミックが独走する。FB に入っている六角がダイビングでタックルしようとするが･･･

ガラシアの糸技が炸裂し、六角は空中でバランスを崩して落下した。ニイミックがトライ。
風馬や六角は一連の不可解な現象に対し、試衛館の小細工を疑うが、そのタネまでは見破ることはできていなかった。

ニイミックは射撃の名手、セリーガルは傭兵護身術、そしてガラシアはセラミック糸（ピアノ線より細く強いらしい）･･･三者三様の得意技だ。
ガラシア「この我ら三身一体の傭兵術で、弁大ごときにはワントライも許さん！」
三「位」一体じゃなくて三「身」一体なのね･･･わざとかな･･･。

先制トライで、勢いづいた試衛館が猛攻をしかける。流れの中、土門は股間蹴りを入れられ、ランポーもセリーガルに関節技を決められた。2 個目のトライを献上。
その後も、度重なるラフプレーを食らい続ける弁天堂の選手達。明から鏡にボールが渡った。鏡ならではの鋭いハンドオフでディフェンスを突破していく！流れを変えるかと思われたが、ガラシアのセラミック糸が鏡の腕をとらえて動きが止まってしまった。すかさず、敵の頭突きを鏡は食らってしまった。ターンオーバーから、試衛館 3 個目のトライ。
鏡がついに怒った。
鏡「おのれぇ～っ！貴様、わざとやったなー！」
頭突きをしてきた選手に殴りかかろうとした。だが、後ろから弁慶が羽交い絞めにして止めた。
鏡「は、離せベンケイ。こいつら卑怯な手ばかり使いやがって･･･！」
いつもは冷静沈着な武士・鏡一刀がこれほどまでに怒るのは珍しい。
あかね「一刀！」
あかねは、鏡に平手打ちをした。驚く選手や観客達。
あかね「奴らがどんなに汚い手を使うからって、俺達も同じ様な事をしたら奴らと同じ程度の卑怯な人間になっちまうじゃねえか！俺達は俺達のラグビーをやるんだっ！！」
この一喝に、鏡はもちろん、弁天堂の選手皆が冷静さを取り戻した。
あかね「だが、このまま黙ってられる俺達じゃねえぜ。これまで奴らが倒してきた青田学院や明大のエリートとは違う雑草集団のパワーを見せつけてやるんだ！！」
かっこいいぞ、あかね。

気を取り直してプレー再開。
スクラムから、明のオープン展開とみせかけての逆サイドへパス！昨年の明大戦で決めた技だ。あかねがボールを持つ。試衛館は意表を突かれて出遅れたが、セリーガルが向かう。だが、ここであかねのウィングステップが発動！セリーガルを一気に抜き去った。続いて、2 人目の選手、3 人目のニイミックもかわす。4 人目はガラシア･･･！
ガラシア「私のサイドは絶対抜かせない！！」
こう叫びながら、**ガラシアは空中高くジャンプして、あかねの顔面に向けてドロップキックをしようとした**。しかし、

あかねのウィングステップが勝った！見開きを大きく使って、スピード感十分だ。
そのままトライ。弁天堂が反撃の狼煙をあげた。実況と解説者も、やはりステップで有名な往年の名選手・**坂田好弘**（さかたよしひろ）を引き合いに出して、見事なあかねのウィングステップを賞賛した。
解説者の樫村さん「日本ラグビー史上最高の名ウィング・坂田氏が求めた理想のステップ。ゆえにウィングステップ･･･姫神あかね選手は、まさに坂田氏の再来とも言えるでしょう」
見事に抜かれたガラシアは、**恐ろしい形相**で悔しさを噛み殺していた。